

## 〈数 学 科〉

### 1 予習の仕方

翌日の授業の内容に目を通し、大事な点や分からない点にアンダーラインをひく。疑問（なぜ？）をもって授業に臨もう。

### 2 授業の受け方

#### (1) 学習課題をつかむ

きょうの授業の学習課題をつかむことが大事である。その課題を解決することが1時間の授業内容である。まず、自分なりにどうすれば解決できるか考えよう。友達と話しあってみよう。友達の意見を聞くと、より自分の考えに深まりが増し、新しい発見もできる。

#### (2) 先生の説明をよく聞く

どの教科にも共通することだが、先生の説明をよく聞くことが絶対に必要である。自分では分かっているつもりで、先生の説明を軽く聞き流したり、勉強以外のことに気をとられたりすることは禁物。全神経を集中して先生の説明を聞き逃さない、これが基本である。

#### (3) 手を使おう

数学は自分にはできない。苦手だからしないという人がいる。好き嫌いとは仕方がないが、はじめからあきらめてしまうのでは解決しない。問題は実際に手を使ってやっているかどうかである。数学に限らず一般に先生の説明を聞いているときには分かったように思うが実際にやってみるとうまくいかないものである。だからこそ訓練が必要であるし練習しなければならないのだが、正しい方法でやれば必ず正しい結果が得られるのが数学の最大の特質である。

### 3 復習の仕方

努力したり、意識的に覚えるのでなければ、人間はまる1日過ぎれば90%以上を忘れてしまうといわれている。そういうことにならないためにも繰り返すということが大切である。練習を重ねることによって確かな学力が身についていくのである。

#### (1) 第一段階

今日学習した内容を、なぜ？という疑問に自分で説明できるぐらいに理解する。要点など整理しておこう。

(2) 第二段階

教科書、ワークなどの類題を解いてみる。分からなければ印をつけ先生や友人に質問して理解する。分からないままでは放置してはいけない。

(3) 第三段階

進んでワーク、問題集に取り組み、教科書や参考書などを活用して基礎的な事からの応用力をつける。

#### 4 ノートの使い方の例

(1) 数量分野

板書事項や 例題など	家庭学習な ど
---------------	------------

1 ページ

- 計算は消さないで残す。
- 訂正、追加などは赤のボールペンで書く。
- 要点、まとめには、蛍光ペンなどを利用する。
- グラフは正確に書き、必ずノートにはりつける。

(2) 図形分野

図	説明 証明
図	説明 証明

1 ページ

- 定規、コンパス、分度器は常に準備しておく。
- 図は正確に左側に書く。
- 説明や証明は図の右側に書く。下側に書くのはよくない。(左右で1つのセットとすること)
- 同じ長さの辺、同じ大きさの角、平行などの記号を図に書き入れ、図を使って考える習慣をつける。